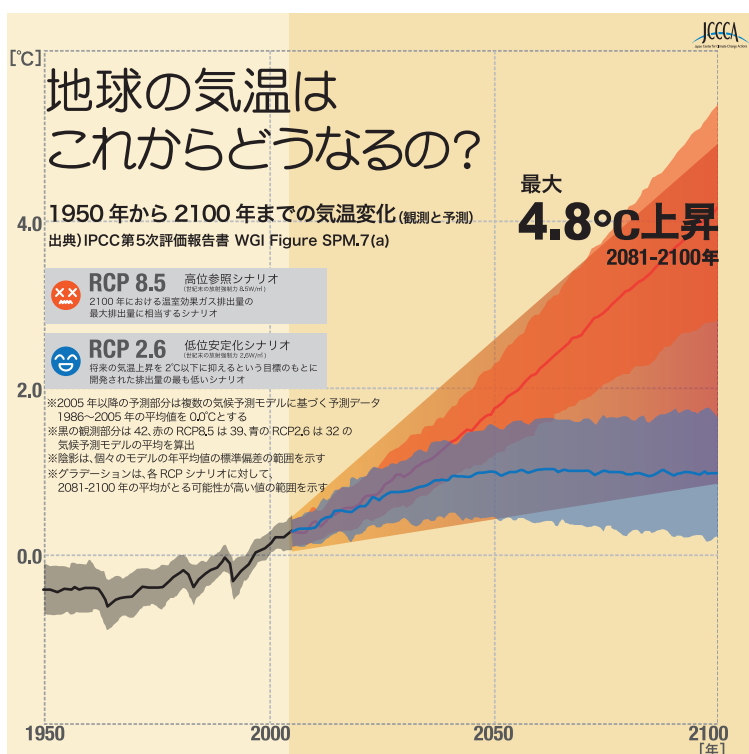


② 地球温暖化の現状



人の体温はおおむね36℃程度ですが、2℃上がり38℃になると大半の人は体がだるくなり横になるなど、普段通りの活動ができにくくなります。

まさに今、地球は二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスの増加によって、このような状況にあります。そしてその原因は、18世紀の産業革命以降の人口増加や化石エネルギー（石油・石炭など）の利用にあるといわれています。



出典) 温室効果ガスインベントリオフィス
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>) より

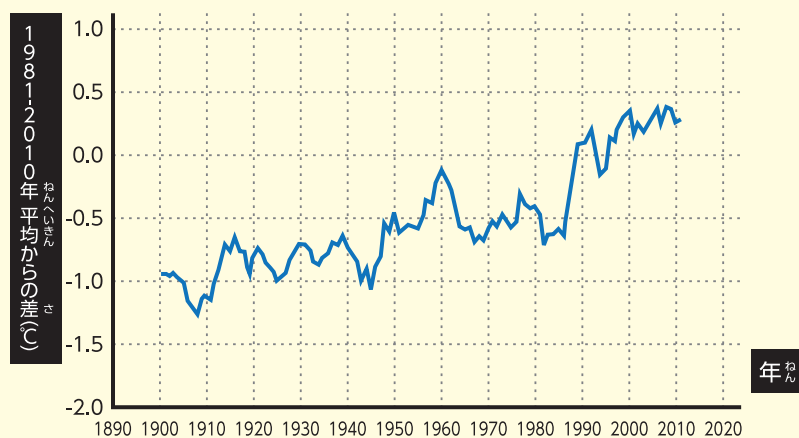
世界中の科学の専門家でつくられた気候変動に関する国際的な研究機構（「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」）が2014年に発行した報告書によると、何も対策を行わない場合、2100年には気温が最大4.8℃上昇すると予測しています。

● 日本の年平均気温

日本の平均気温は1898年以降、100年間に1.1℃の割合で上昇しています。大都市での気温上昇はそれよりも大きく、東京では100年間に3.0℃も高くなっています。

こうした差は主に都市化によるヒートアイランド現象の影響であると考えられます。

【日本の年平均気温の経年変化】



「ヒートアイランド現象」

大都市では、太陽からの熱が鉄筋コンクリートやアスファルトに蓄えられます。建物や自動車からも多くの熱が出されます。その上、たくさんあるビルによって風の流れが悪くなり、溜まった熱がなかなか冷めません。他の場所と比べて暑くなり、熱が溜まった島（ヒートアイランド）のような状態になります。

● 異常気象

地球温暖化が進むにつれて、世界各地で異常な気象現象が増えています。寒い日が減少し暑い日が増え、世界の平均気温と海面水位は長期的に上昇、このままいけば、緑豊かな大地が砂漠化することや、氷山や氷河が融けて陸地が減少することが予測されています。

日本でも非常に強い雨（1時間に80mm以上とされる短時間豪雨）が10年あたり2.3日のペースで増加し、河川の氾濫、土砂崩れなどの局地的な災害が起きやすくなっています。



● 目に見える地球温暖化の現状と影響

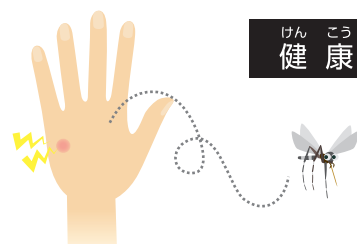
のうさくぶつ 農作物



こめ のうさくぶつ ちきゅうおん
米などの農作物は、地球温
暖化の影響で育ちが悪くなり、
しゅうかくりょう へ
収穫量が減ります。

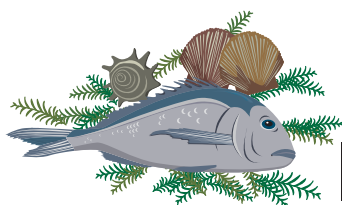
なつ ば おく がい ねっちゅう 夏の屋外で熱中

しょう ひと ぶ
症になる人が増えて
います。また、ヒト
スジシマ蚊（やぶ蚊）



けん こう
健康

せい そく いき に ほん し だい きた ひろ
の生息域が日本でも次第に北に広がっています。
この蚊はデング熱の感染を招く危険性があり、発
しょう とつ ぜん こう ねつ で
症すると突然高熱が出たりします。



かい さん ぶつ 海産物

かい さん ぶつ さかな
海産物は、サンマなど魚が
と ば しょ か ぎょ かくりょう
捕れる場所が変わり、漁獲量
が減ります。

ぶん か 文化



さくら かい か じ き はつ な はや
桜の開花時期やウグイスの初鳴きが早まったり、
カエデなどの色づきや落葉が遅くなったりしてい
ます。それらにより、に じゅう し せつ き に ほん でん とう
二十四節気など日本の伝統
てき こよみ しょう
的な暦とのずれが生じています。

あなたが体験した地球温暖化現象をチェックしてみよう

- ☐ あつ さむ い ぜん きび かん
暑さ寒さが以前より厳しくなったように感じた
- ☐ か ぞく とも だち ねっちゅうしょう
家族や友達が熱中症になった
- ☐ とつ ぜん きよくち てき おお あめ しゅうちゅうごう とう
突然の局地的大雨や集中豪雨（ゲリラ豪雨）でずぶぬれになった
- ☐ つか じ かん ぶ
エアコンを使っている時間が増えた
- ☐ こうよう はな さ じ き し き うつ か
紅葉や花の咲く時期など四季の移り変わりがずれているように感じた
- ☐ いま み い もの こんちゅう み
今まで見たことのない生き物（昆虫）を見かけるようになった
- ☐ す さかな と ね だん あ た かい すう へ
好きだった魚が捕れなくなることで値段も上がり、食べる回数が減った

その他

.....

.....

.....